

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## ミネベアミツミ株式会社（証券コード:6479）

### 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- (1) 機械加工品、電子機器などを扱う総合精密部品メーカー。機械加工品事業の主力製品であるミニチュアボールベアリングやピボットアッセンブリーなどは世界シェアの過半を占める。同事業は超精密機械加工技術と量産技術の両立で高い競争力を実現しており、利益の柱となっている。電子機器事業では自動車や情報端末向けのモーター、LED バックライト、計測機器などを扱う。17年に子会社化したミツミ電機は、ゲーム機やスマートフォン向けの光デバイスや機構部品などを主力としている。また、18年11月に自動車部品などの開発・生産・販売を手掛けるユーシンの買収を発表した。
- (2) 自動車の高機能化や家電、産業機器類の高品質化などを背景に、当社のミニチュアボールベアリングの販売数量は増加基調が続いている。また、ミツミ事業もゲーム機やスマートフォン関連製品の拡販や生産体制の見直しなどが奏功し利益が大きく改善した。今後も自動車の電動化や自動運転技術の向上などに伴い、モーターを含む車載向け製品の需要は拡大していくことが予想され、当面の業績は堅調に推移すると考えられる。財務構成はユーシンの買収が実現すると悪化する見込みだが、比較的早期に回復可能とみられる。以上を踏まえて、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 19/3期営業利益（IFRS）は850億円と2期連続で過去最高を計画している。主力の機械加工品事業で増益を見込むほか、電子機器事業やミツミ事業の業績も堅調とみられる。自動車向けやゲーム機関連向けの製品を中心に販売が好調だ。継続的なコスト削減により体質強化を図ってきたことも近年の好業績に結び付いている。ただ、足元では米中貿易摩擦などの影響で中国市場を中心に景気の先行き不透明感が増しており、今後の動向を注視していく。
- (4) 18年9月末の自己資本比率50.7%など財務諸指標は健全な水準を維持している。19年1月以降に計画されているユーシンの買収が実現した場合、財務構成には相応の影響があると考えられる。ただ、当社の収益力やキャッシュフロー創出力を踏まえれば、比較的早期に財務内容の回復が可能とみている。M&Aについては引き続き積極的な姿勢を示しており、JCRでは投資方針やその影響を確認していく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

### ■格付対象

発行体：ミネベアミツミ株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年1月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之  
主任格付アナリスト：関口 博昭
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「電機」(2011年7月13日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) ミネベアミツミ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル